

令和4年度 社会福祉法人かいせい 事業報告書

1 運営の概況

新型コロナウイルスによる行動制限が段階的に緩和されてきたのに伴い、授産事業の販売機会や売り上げは少しずつ回復してきている。しかしながら、地域で感染者が増加した場合や、各事業所で感染者が発生した場合などは、感染予防のため通所を控える利用者も多く存在し、当該年度も新型コロナウイルスが事業収入に与えるマイナスの影響は依然として大きかった。

また、利用者本人の高齢化・重度化に加え、介助者である家族の高齢化などにより、日中に通所する生活介護事業から入所施設への移行を希望する家族が増え、当年度も2名がふつとを退所して入所施設へ移行した。

当該年度は、令和4年8月の大雨でグループホームの「あみかる」が床上浸水した他、11月にはグループホーム内で利用者・職員合わせて8名が新型コロナウイルスに感染して対応に追われるなど、災害・感染対策の重要性を認識した年度でもあった。

支出については、退職者の補充を最小限にするなど支出削減に努めてはいるが、前述のように利用実績が減少していることから、全体として収支はマイナス傾向となっている。

新型コロナウイルスの感染防止対策には継続して取り組んでおり、法人内や関係機関との会議はリモートを中心として行い、大人数が集まる場面を最小限にしている。利用者向けの行事やレクリエーションについても、感染防止対策を徹底したうえで規模を縮小して実施した。

当該年度も各事業所がそれぞれ自立した事業運営に努力し、互いに課題を共有しながら、法人全体で連携・協力して運営の安定に取り組んできた。

2 利用状況

かいせい東川については新利用者が1名いたが、感染予防や体調上の理由で休む利用者が増え、平均利用者数は若干減少している。ふつとについては入所施設へ移行するため退所した利用者が2名いた影響などから、平均利用者数が一日あたり3名ほど減少している。グループホームにおいては、長期入院から退所した利用者がいたほか、水害や感染などで長期に休んだ利用者がいたため平均利用者数が減少した。

事業所名	かいせい東川 (オリーブ含む)	ふつと	わふと(4住居)
事業種別	就労継続B型	生活介護	共同生活援助
定員数	40名	60名	26名
年度末利用契約者数 (前年度比)	54名 (+1名)	61名 (-3名)	25名 (-1名)
開所日数	242日	242日	365日
平均利用者数 (前年度比)	36.3名 (-0.4名)	42.6 (-3.0名)	21.2名 (-0.7名)

3 職員配置状況

職員数については、1名の入職、4名の退職があり、総数は前年度末から3名減少した。

	施設長	サビ管	職業指導員	生活支援員	世話人	看護職員	他
かいせい東川	1(兼)	1(兼)	2	3			
Ｌ オリーブ	1(兼)	1	1	2			
ふっと	1(兼)	1		12		2	1(嘱託医)
わふと(4住居)	1(兼)	2(兼)		4	7		

年度末時点／総職員数 38 名（前年度比-3 名）

4 支援業務

(1) 個別支援計画の策定・見直し

- ・事業所全体でサービス管理責任者5名（うち3名は、管理者や支援員と兼務）

(2) 就労支援事業（授産事業）

- ・クッキー、パンの製造販売（かいせい東川）
- ・焼き菓子の製造販売、パンの店の運営（オリーブ）
- ・軽作業、自主製品製造販売（ふっと作業班。生活介護登録者のうち13名）

(3) 生活介護事業（ふっと）

- 創作活動、レクリエーションなど
- 感染予防のため、外出する活動は自粛。

(4) 居宅支援（グループホーム）

- 共同生活住居4ヶ所を運営。

(5) 健康管理

- ・健康診断の実施（4月～6月）： 全事業所（利用者および職員）
- ・インフルエンザ予防接種（職員の接種費用は法人が負担）
- ・嘱託医の訪問（6月、9月、12月、3月）： ふっと

(6) 安全対策

- ・避難訓練（各事業所で、春と秋に1回ずつ。）
- ・新型コロナウイルス、インフルエンザ等の感染対策

(7) 環境整備

- ・施設内外の美化と整理整頓： 全事業所

5 就労支援事業（授産事業）

かいせい東川（オリーブを含む）の売り上げについては、新型コロナウイルスによる行動制限の緩和によりイベントや外部の販売が順次再開していることなどから、前年度と比較して大きな増収となっている。これに伴い令和4年11月から、かいせい東川の工賃を日額400円から日額500円へと増額した。ふっとは下請け作業が中心となっており、前年度より売り上げが若干増加した。

	かいせい東川	オリーブ	ふっと作業班
売上高	15,215,346 円 (前年度比+2,016,471 円)		912,964 円 (前年度比+31,132 円)
工賃支給基準	日給 500 円+賞与 1 ヶ月 (前年度比+100 円)	日給 600 円+賞与 1 ヶ月 (前年度と同じ)	日給 300 円+賞与 2,000 円 (前年度と同じ)
工賃総額	4,356,525 円		626,150 円
収 支	769,727 円		283,559 円

6 委員会

- ・権利擁護委員会<兼>虐待防止委員会<兼>身体拘束適正化委員会
4 回開催。虐待防止マニュアルの改訂、ヒヤリハットおよび事故報告の検討、等。
- ・感染予防対策委員会<兼>防災対策委員会
5 回開催。感染予防対策について、事業継続計画(BCP)の策定、マニュアルの見直し、等。

7 実習生・ボランティアの受け入れ

社会福祉士実習生： 北海道教育大学函館校 2 名、西野学園通信課程 1 名
介護実習生： 臨床福祉専門学校 2 名、函館大妻高等学校 2 名

8 職員研修

新型コロナウイルスの影響により、リモート開催など感染防止対策を行ったうえでの実施。

- ・施設内研修「身体拘束について」（6月） 26名参加
- ・施設内研修「ダウン症の人のこと、もっと知ろう」（8月） 25名参加
- ・施設内研修「感染予防・防災対策について（新型コロナウイルス最近の情報について、風水害等災害時の対応について）」（10月） 25名参加
- ・施設内研修「権利擁護・虐待防止・身体拘束適正化の取り組み」（1月） 21名参加
- ・施設外研修「北海道サービス管理責任者研修～実践研修」（4月） リモート開催、1名参加
- ・施設外研修「全道施設長セミナー」（6月）
北海道知的障がい福祉協会主催、リモート開催、1名参加

- ・施設外研修「北海道知的障がい関係支援員研修（自閉症スペクトラム症の方の理解と支援方法）」（7月）
北海道知的障がい福祉協会主催、リモート開催、1名参加
- ・施設外研修「北海道障がい者虐待防止・権利擁護指導者養成研修」（9月）
北海道主催、リモート開催、1名参加
- ・施設外研修「障がい者虐待防止・権利擁護指導者養成講座（伝達研修）」（12月）
北海道知的障がい福祉協会主催、リモート開催、1名参加
- ・施設外研修「虐待防止・身体拘束に関する研修会」（2月）
ぱすてる主催、リモート開催、1名参加
- ・施設外研修「全道施設長研修会」（2月）
北海道知的障がい福祉協会主催、リモート開催、1名参加

9 補助金等

- ・医療/介護/障がい施設等物価高騰支援金（北海道）
かいせい東川：200,000円、ふっと：300,000円 グループホーム：270,000円

10 主な行事

- ・ウェルフェアまつりは感染拡大防止のため中止
- ・事業所ごとの利用者自治会は、内容を制限して実施